



山本かよこの

山本香代子

にこにこ通信



心のふれあう江東区、あなたのそばに“開かれた区政を”

平成18年 5・6月号

- 昭和36年3月18日 深川冬木生まれ A型 魚座
- 昭和42年 双葉幼稚園卒園
- 昭和48年 江東区立明治小学校卒業
- 昭和51年 江東区立深川第二中学校卒業
- 昭和54年 都立東高等学校卒業
- 平成11年 区議会議員 初当選
- 地域活動/深川消防団第6分団班長(現在2期目)

発行: 山本かよこ事務所 TEL 03-3630-2278 FAX 03-3630-8978
 〒135-0041 東京都江東区冬木21番22号
 ✉ 2525kayoko@mx10.ttcn.ne.jp URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~yamakayo>
 江東区議会 新生クラブ 幹事長(無所属) 討議資料

皆さん、こんにちは。江東区議会議員の山本かよこです。

うっとうしい長雨の季節、梅雨明けが待ち遠しく感じられる今日この頃、暑さが日増しに厳しくなってきました。

江東区議会におきましては、5月25日(木)に開会された1日限りの臨時本会議において常任委員会、特別委員会の改選が行われ、新たな構成メンバーによる議会が始まりました。私は、江東区議会新生クラブの幹事長を引き続き務めるとともに、文教委員会そして医療・介護保険制度特別委員会の委員として様々な課題に対し、真剣に取り組んで参ります。また(財)江東区地域振興会の評議員として文化センター等の管理運営に対し、利用者の視点に立ってサービスの向上や改善するべき点などを考えていきたいと思っています。これからも信頼される議員を目指して頑張ります。



平成18年第2回 区議会定例会が開会されました。

(平成18年6月14日~平成18年6月30日) 会期17日間

議会スケジュール

日程	午前		午後	
14日 水			1	本会議
15日 木			1	本会議(継続会)
16日 金	10	企画総務委員会		
17日 土				
18日 日				
19日 月	10	区民環境委員会		
	10	厚生委員会		
20日 火	10	建設委員会		
	10	文教委員会		
21日 水	10	議会運営委員会		
22日 木	10	清掃港湾・臨海部対策特別委員会	2	ごみ問題を考える会
23日 金	10	防災・まちづくり対策特別委員会		
24日 土				
25日 日				
26日 月	10	南北交通・放置自転車対策特別委員会		
27日 火	10	医療・介護保険制度特別委員会		
28日 水	10	幹事長会		
29日 木	10	議会運営委員会		
30日 金			1	本会議(最終日)

できるだけ要介護状態にならないようにするために

要介護度の低い（要支援1・2）の方には、筋力トレーニングや栄養改善指導などの新たなプログラムが導入され、選択によって介護予防サービスとして提供されます。また、今は介護の必要はないけれど生活面において体力に不安を感じている在宅で暮らしている高齢者の方には、区が実施している年に一度の健康診断のなかで新たに導入しました25項目の基本チェックリスト（生活機能評価）を利用し、生活機能の低下を早期に把握するとともに、地域包括支援センターにおいて介護予防事業の対象者を選定します。介護予防事業の対象者には、保健師等が中心となって介護予防のケアプランが作成され、ケアプランに基づいて介護予防事業が利用できます。

さらには、寝たきりや重度化を防ぐために、主治医、民生委員などの関係機関からの連絡や生活実態調査、保健師などの訪問活動など様々な機会を通じ、「介護予防サービスを提供した方がよい」と思われる高齢者を見つけ出すことも重要です。これからも自立支援を基本とした介護保険事業として積極的に取り組むとともに、制度の安定的・持続的な運営を図っていきます。家にこもりがちな高齢者をどうやって参加させていくのか、またサービス提供が必要とされても、筋力トレーニングや体操などに消極的な人への働きかけなど課題はありますが、介護予防サービスは給付費抑制の切り札と考えられます。



特徴

支援が必要になる前の状態の高齢者から、要支援・要介護認定を受けている高齢者まで、地域包括支援センターを中心として、一貫性のある介護予防ケアマネジメントが実施されていきます。

- ◎ 「要支援1」「要支援2」 → 介護予防サービス
- ◎ 介護や支援が必要となるおそれのある人 → 介護予防事業
- ◎ 地域包括支援センター（4カ所）設置（白河・東陽・大島・南砂）
- ◎ 基本チェックリスト（生活機能評価）を導入



<基本チェックリストの内容>

No.	質問項目	回答	
1	バスや電車で1人で外出していますか	はい	いいえ
2	日用品の買い物をしていますか	はい	いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	はい	いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	はい	いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	はい	いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	はい	いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	はい	いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	はい	いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	はい	いいえ

}} 途中省略 }}

23	（ここ2週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	はい	いいえ
24	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない	はい	いいえ
25	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする	はい	いいえ

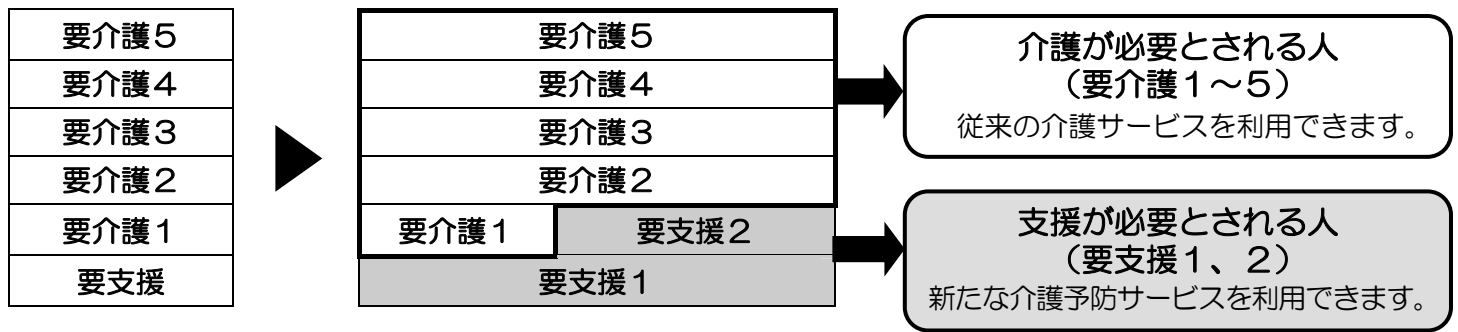
■地域包括支援センターとは

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー等の専門職を配置し、介護予防ケアマネジメントをはじめ、総合相談や高齢者の虐待防止のための相談や権利擁護など、介護予防を含めた高齢者の生活全体を地域において包括的・継続的に支えるための拠点として位置づけられ、区民の身近な窓口として定着している在宅介護支援センターとの連携・協力のもと、地域の高齢者の保健・医療・福祉の向上、生活の安定のため、重要な役割を担う機関です。

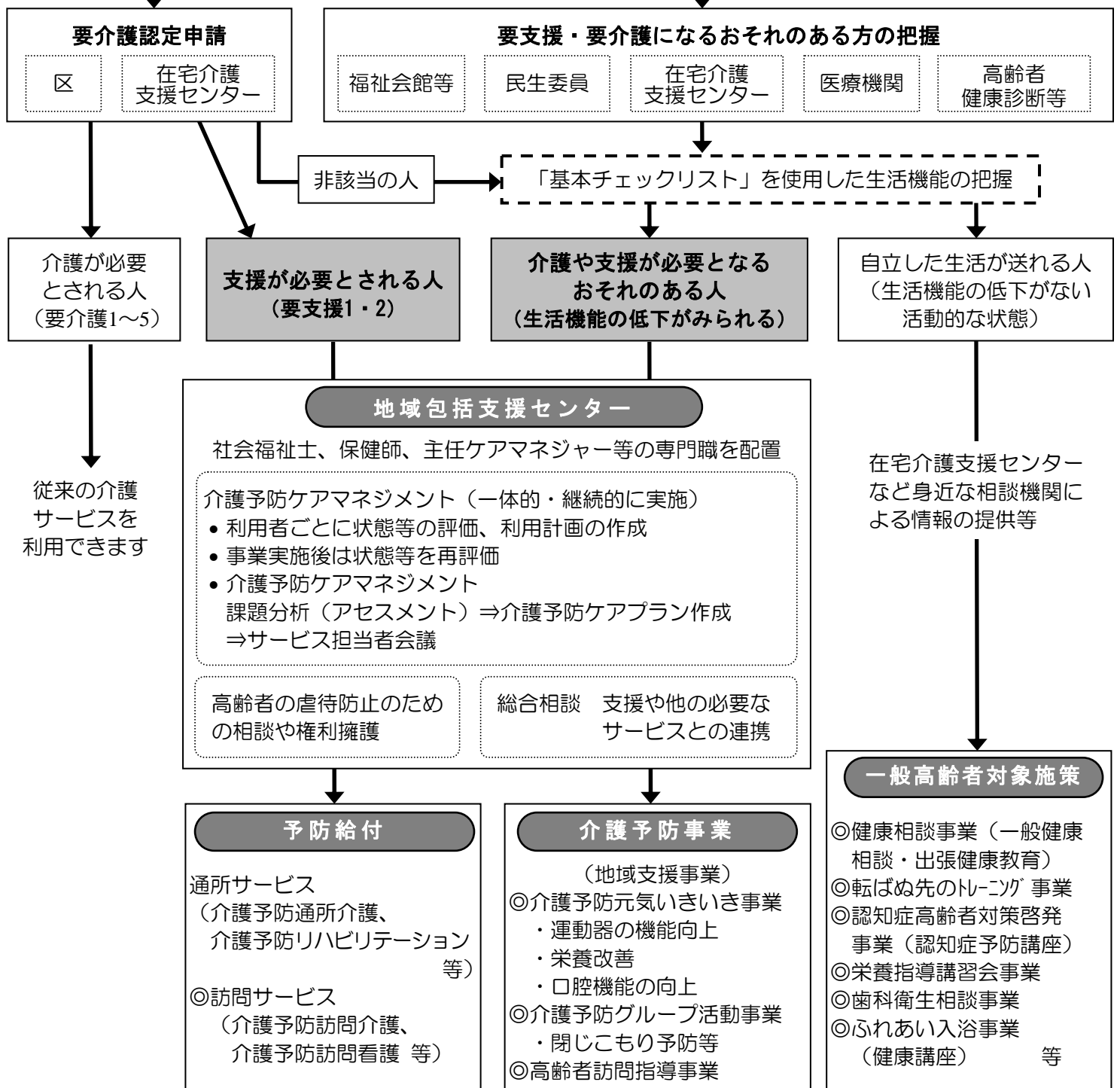
どこが変わったの？

「予防重視型システム」への転換

新たに「要支援 1」「要支援 2」の要介護度認定区分が創設され、軽度の方に提供される「介護予防サービス」が始まりました。（要支援→要支援 1、要介護 1→要支援 2（6割）と要介護 1（4割）に分割）



すべての65歳以上の高齢者が対象



在宅介護支援センターなど身近な相談機関による情報の提供等

↓

江東区の高齢化の状況

本区の状況は、平成 18 年 1 月現在の高齢化率が 17.8%となっており、高齢者の住まい方にも変化がみられ、一人暮らし世帯の伸びが目立ってきており、高齢者を地域社会全体で支える必要性が増しているといえます。

◎高齢者人口の推移

(平成 17 年 1 月 1 日現在 住民基本台帳人口調査集計表)

	高齢者人口 (65 歳以上)	高齢化率
平成 17 年	70,753 人	17.5%
平成 21 年予測	88,553 人	19.3%

※およそ 5 人に 1 人が 65 歳以上になると予測されています。

◎要支援・要介護認定者数の割合

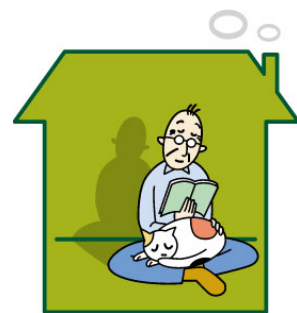
	認定者 (認定者出現率)	高齢者
平成 12 年 4 月	4,479 人 (7.8%)	57,723 人
平成 17 年 9 月	10,719 人 (14.5%)	74,023 人

※本区の要支援・要介護認定者数の割合は、制度開始 (平成 12 年 4 月)当初時点では、高齢者数は 57,723 人で、そのうち認定者数の割合は 7.8%、約 13 人に 1 人が認定者でしたが、平成 17 年 9 月には、高齢者数は 74,023 人と約 1.3 倍になり、そのうち認定者数の割合は 14.5% で約 7 人に 1 人にまで増加してきています。

◎地区別高齢化率の状況

(平成 17 年 1 月 1 日現在 住民基本台帳人口調査集計表)

地区	高齢化率
白河	17.7%
富岡	17.1%
豊洲	13.6%
小松橋	17.7%
東陽	17.9%
亀戸	18.4%
大島	19.7%
砂町	18.2%
南砂	17.9%



※大島地区で高齢化率が 19.7%と最も高く、以下亀戸地区 18.4%、砂町地区 18.2%と続いています。一方、豊洲地区では高齢化率 13.6%と他の地区に比べて、際立って低いのが特徴的です。

予防がキーワード



昭和 22 年から昭和 24 年に誕生した団塊の世代が 65 歳以上となる平成 27 年 (2015 年)には、本区の高齢者人口は飛躍的に増大すると予測されています。これらの年齢層の方々が自らの健康チェックをするとともに、生活習慣病予防、介護予防に積極的に取り組むことが何よりも重要と考えられます。将来、要支援・要介護者にならないように高齢者一人ひとりが生きがいや心身の健康を保持しながら暮らすことができる「明るく活力ある超高齢社会の構築」に向けて全力で取り組むとともに、増加傾向にある一人暮らしや認知症等の高齢者へのケアや地域との「共生」と「協働」のネットワークづくりをさらに広げ、地域ケア体制の整備も責任を持って進めてまいります。

だれにでも加齢とともにかならずやってくる高齢者への道。しっかり予防していつまでも若々しく住み慣れた地域で元気に暮らせる、心豊かな長寿社会を目指していきたいと思っています。



江東区役所

●介護保険なんでも相談 (3647) 9099

●ホームページ <http://www.city.koto.lg.jp/>